

成績概要書 (2006年1月作成)

課題分類：

研究課題：平成17年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫(植物防疫事業)

担当部署：北海道病害虫防除所、中央農試クリーン農業部予察科・病虫科・総合防除科
上川農試研究部病虫科、道南農試研究部病虫科、十勝農試生産研究部病虫科
北見農試生産研究部病虫科、花・野菜技術センター研究部病虫科、技術普及課

担当者氏名：

協力分担：全道55地区農業改良普及センター

予算区分：補助(農林水産省)、道費

研究期間：2005年度(平成17年度)

1. 目的

本年実施した調査および試験研究結果から、特に留意を要する病害虫について注意を喚起する。

2. 方法

- 1) 農作物有害動植物発生予察事業
- 2) 突発および新発生病害虫診断試験および調査
- 3) 各種の試験および調査

3. 成果の概要

1) 平成17年にやや多～多発した病害虫

- (1)水 稲：苗立枯病(細菌病含)、イネミズゾウムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、セジロウカ、フタオビコヤガ、ニカメイガ
- (2)たまねぎ：乾腐病、ネギアザミウマ
- (3)ねぎ：ネギアザミウマ
- (4)キャベツ：コナガ、ヨトウガ
- (5)だいこん：キスジトビハムシ
- (6)りんご：モモシンクイガ、ハダニ類

2) 平成18年度に特に注意を要する病害虫

- (1)きゅうりの褐斑病
- (2)メロンの果実汚斑細菌病
- (3)りんごのモモシンクイガ
- (4)りんごのハダニ類

3) 新たに発生を認めた病害虫

- (1)大豆のウコンノメイガ(新寄主) *Pleuroptya ruralis* (Scopoli)
- (2)大豆・だいこん・キャベツのハスモンヨトウ(新寄主) *Spodoptera litura* (Fabricius)
- (3)きゅうりの褐斑病(耐性菌の出現) *Corynespora cassiicola* (Berkeley & Curtis) Wei
- (4)メロンの果実汚斑細菌病(新発生) *Acidovorax avenae* subsp. *citrulli* (Schaad, Swoell, Goth, Colwell & Webb) Willems, Goor, Thielemans, Gillis, Kersters & De Ley
- (5)ピーマンのうどんこ病(新発生) *Oidiopsis sicula* Scalia
- (6)ピーマンのモザイク病(抵抗性品種を侵す病原型の発生) *Pepper mild mottle virus* (PMMoV)
- (7)ほうれんそうのべと病(新レース) *Peronospora effusa* (Greville) Cesati
- (8)かぶのトビスジヒメナミシャク(新寄主) *Orthonama obstipata* (Fabricius)
- (9)アスパラガスのケナガコナダニ(新寄主) *Tyrophagus putrescentiae* (Schrank)
- (10)食用ユリのユリ類黒腐菌核病(新発生) *Sclerotium cepivorum* var. *tulipae* Desmazières
- (11)ヤーコンの根腐病(新称) *Pythium oedochilum* Drechsler
- (12)ブルーベリーのオウトウショウジョウバエ(新寄主) *Drosophila suzukii* (Matsumura)
- (13)アロニアのクロハススジハマダラミバエ(新寄主) *Anomoia permunda* (Harris)
- (14)コスモスの白斑病(病原菌の同定) *Entyloma cosmi* Vánky, Horita & Jage

4. 成果の活用面と留意点

ここに記載した病害虫について、特に今後の発生動向に注意する。

5. 残された問題とその対応

- 1) 各種病害虫の要防除水準の設定
- 2) 簡易な調査方法とモニタリング手法の改善
- 3) 発生変動要因の解明と発生予察法の改善
- 4) 病害虫発生情報の収集および伝達の迅速化